

能面×書

般若の花

—空くうの先にあるもの—

2026

3/20

[金・祝]

30

[月]

10:00

18:00

※最終日

16:00まで

永井画廊 日曜画廊
東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5階

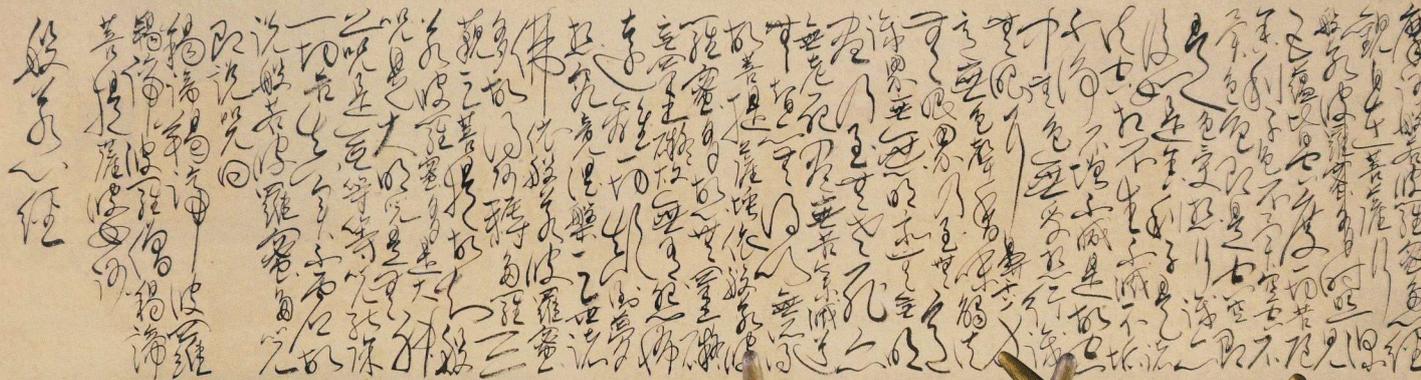
能面師 大月光勲 × 書道家 川瀬みゆき
OHTSUKI Koukun KAWASE Miyuki

Collaboration between Noh masks and calligraphy "Prajna Flower"
NAGAI Art Gallery in Ginza, Tokyo from March 20th to 30th, 2026

「芳一」Hōichi

大月光勲 / 川瀬みゆき 合作

photo:YAMAZAKI kenji

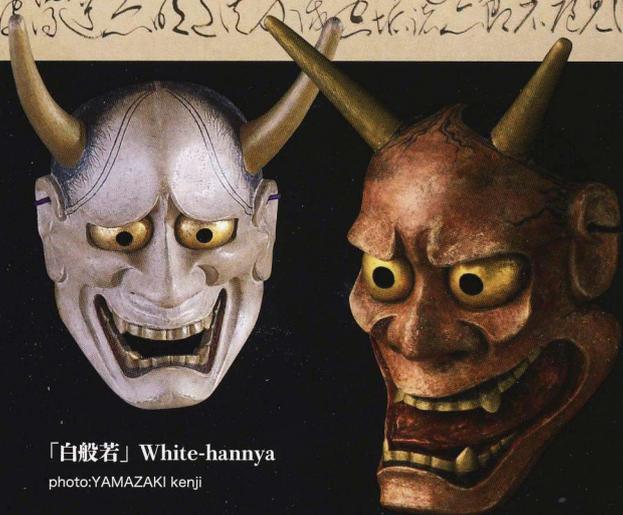


「般若心経」Hannya-shinkyō 135×35cm 老灰紙 松煙墨

天地間に存在するあらゆるものは、そもそも実体がなく、「空(くう)」である。
 “一切を空と見抜く智慧(一切皆空)”を説く般若心経の教義は、「空」の思想を舞台芸術として体現化した能の世界にも色濃く影響を及ぼしている。
 怨念や執着の果てに身を亡ぼす『般若』。その実体ある苦しみからの解脱を示唆する『般若心経』。2つの『般若 -Prajna-』を能面と書で対峙させ、「空」への道筋とその先にあるものを探ることが本展のテーマである。
 澁みなく流れる狂草(※)で揮毫した書は、執着心が無い。怒りと悲しみにもがく般若面が、超俗的な般若心経に導かれ、智慧を授かり「空」に救われる。辿り着いた悟りの境地には、浄化された心身に宿る「花」がある。本展にあたり、我々はそんな空想を描いた。
 「空」とは、実体のない「無常」ともいえる。この無常観を象徴する能の題材である「平家物語」や「西行桜」等にも焦点をあてる。
 煩惱を内包する能面と、煩惱を照らす書。長年の技巧に培われた互いの共鳴による芸術性が、日々変化する実相をありのままに受け入れ、執着や苦しみから解放されるための道しるべとなることを願う。

※狂草(きょうそう) / 極限まで字画を崩した草書体

大月光勲・川瀬みゆき



「白般若」White-hannya
photo:YAMAZAKI kenji

「真蛇」Sinja
photo:YAMAZAKI kenji

永井画廊

NAGAI Art Gallery

OHTSUKI Koukun

能面師
大月光勲



「葛城」Kazuraki
photo:YAMAZAKI kenji

「若女」Waka-onna
photo:YAMAZAKI kenji

大月光勲

岡山県倉敷市生まれ 京都市上京区在住
1972年 独学で面打を始める / 1977年 長澤草春師（無形文化財選定保存技術保持者：長澤氏春師の三男）に師事 / 1995年 梅若六郎師（桜雪：人間国宝）『湯水龍女』後シテ用「龍王子」 / 2002年 椿大神社神事能「鉦女」シテ：金剛永詮師（人間国宝）に創作面「鉦女」 / 2008年 早稲田大学演劇博物館「現代能面・狂言面作家展」 / 2015年 パリ個展 / 2017年 ポートランド個展 / 2024年 金沢能楽美術館「風姿と気配」—能面と抽象画（山本浩二）の対峙—、萩市・熊谷美術館に巡回 / 2025年 パリ日本文化会館にて新作能「長崎の郵便配達」（作：大倉正之助師）に創作面 / 個展多数、自作面は300番以上の演能に使用される / 出版物＝「能面花鏡」（求龍堂）



般若 -Prajna-

平家物語

KAWASE Miyuki

書道家
川瀬みゆき



「閃」Sen 70x57cm 画仙紙 油煙墨

川瀬みゆき(号：碧水)

大阪府生まれ 滋賀県大津市在住
1976年 藤田紫清師 門下 / 2003年 藤岡都選師（日展会員）門下。書壇で研鑽を積み、日本書芸院展、読売書法展にて入選・入賞多数 / 2014年 日本書芸院一科審査員昇格 / 2019年 第9回 SYO サロン展「KBS 京都賞」 / 2021年 第10回記念 SYO サロン展「京都府知事賞」（今展出品作《般若心経》にて受賞） / 2023年 大丸京都店美術画廊 グループ展 / 後進の指導にも力を注ぐ。現在、京都美術工芸大学・京都伝統工芸大学 非常勤講師。主宰教室を大阪・京都・滋賀にて開催 / 篆刻家としても活動し、デザイン性の高い作品には定評がある。作家やアーティストへの落款印提供多数 / 書の得意分野は流麗な草書（狂草）、強靱な北魏楷書 / 2026年 書歴 50周年



「初心不可忘 / 篆刻」
7.8x5.8cm (印面)
青田石



西行桜

葛城



「皺尉」Shiwa-jo
photo:YAMAZAKI kenji



「如幻」Nyogen 81.6x53cm 宣紙(紅星牌) 青墨

●作家在廊日 3月20日(金・祝)・21日(土)・27日(金)・28日(土)・30日(月)

当代気鋭の能面師と書道家による貴重なコラボ展を開催します。
弊廊では日本文化の真髄から学ぶ企画を折々に展開していますが、大月氏とは2020年1月に作品集刊行記念展を開催して以来、能面の意義を現代に活かす機会を共に模索しています。今回、川瀬氏をご紹介頂き、能面と書を代表するテーマ“能面般若”と“般若心経の書”を取り合わせ、いまの季節に相応しい“平家物語”“西行桜”“葛城”各コンセプトによる共作も合わせた展示で、それぞれのジャンルの枠を超え、日本文化全般に通底する幽玄な世界を見事に顕現させる空間になりました。
奈良時代に般若心経が伝来して以来、多くの先人たちが“空(くう)の先にあるもの”を求めてきました。本展を通して鑑賞者それぞれが思うその先にあるものを想像してみたいかがでしょうか。私はその先に“自由”を見えています。
本展が皆様にとって人生の道標となれば幸いです。

永井龍之介

記念イベント
対談 3/20 (金・祝)
般若の花
空の先にあるもの
大月光勲・川瀬みゆき
司会 永井龍之介
15:00～16:00
《定員30名・無料》
※お電話またはメールにてお申込みください。定員になり次第締め切らせて頂きます。

空の部屋

永井画廊

104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北新報ビル5階
tel: 03-5545-5160 fax: 03-5545-5180
https://www.nagai-garou.com

Twitter / Facebook / Instagram
@gallrynagai
(via #gallrynagai #永井画廊)

YouTube
鑑定士永井龍之介の
「アート探求サロン
ニューシーズン」



NAGAI Art Gallery



ケインドレイク木彫り倶楽部